

カリキュラム

コースコード：21-123

中小企業大学校 直方校

タイトル	収益性を高める原価管理の進め方				
サブタイトル	製造活動の収益性を高めるコストダウンの進め方				
研修のねらい	国内のみならず、安価な輸入製品等との競争が激化する中、コスト競争に打ち勝つため、製造現場にはさらなるコストダウンが求められています。本研修では、製造現場をモデル化した教材を使い、原価計算とコストダウンのポイントを学び、自社のコストダウン活動を改善し、利益を向上させるための実践力を高めます。				
研修のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・製造原価の求め方、分析の仕方を学びます。 ・コストダウン実践の着眼点を学びます。 ・自社のコストダウンにつなげる改善計画を作成します。 				
日程	2021年10月6日（水）～10月8日（金）	日数	3日	時間数	21時間
対象者	管理者、新任管理者 ・原価管理を基礎から体系的に学びたい方 ・コストダウンの進め方を学びたい方 ・自社のコストダウン活動を見直したい方	定員	30名	受講料	32,000円
		会場	中小企業大学校直方校		

プログラム

月日	時間	科目	内容	講師
10/6 (水)	9:10~9:30	開講式・オリエンテーション		株式会社アティックフェイス 代表取締役 顯谷 敏也
	9:30~12:30	企業活動と原価管理	企業経営とお金の流れについて理解を深め、コストが経営にどのように影響するか理解します。 ・会社の数字の理解 ・工場で発生する費用と儲けの関係 ・原価管理の目的と考え方	
	13:30~17:30	コストダウンの進め方	コストダウンの着眼点や、実際に改善を進める上で重要になる製品原価計算と原価管理を、事例を通して実践的に学びます。 ・原価計算と原価管理 ・コスト分析の実際 ・コストダウンの目的つけどころ	
10/7 (木)	9:00~12:30	コストダウン手法の実践 (演習)	事例研修とゲームを使用したグループ演習を通してPDCAサイクルを通じた具体的なコストダウン手法を習得します。 ・原価計算の実務 ・材料費・労務費のコスト構造の把握 ・IE手法を活用したコストダウン ・改善効果の定量的な把握と差異分析 ・改善効果の定量的な把握	
	13:30~17:30			
10/8 (金)	9:00~12:30			
	13:30~16:30	現場実践のポイント	研修で学んだ内容を現場で実践するためのポイントを事例を交えて学び、自社でコストダウン活動を実践する際の課題をまとめ、対策を検討します。 ・コストダウン活動実践の留意点 ・自社活動の課題と対策 ・改善のためのアクションプランの立案	
	16:30~16:40	終講式		

講師紹介

氏名	略歴
顯谷 敏也 (あらか としや) 株式会社アティックフェイス 代表取締役	関西大学大学院工学研究科を修了後、1986年シャープ（株）に入社。情報システムの構築、大型液晶テレビ工場の立ち上げ、サプライチェーン設計、工場の生産改善指導、人材育成等に従事。2012年に独立し、生産性改善オフィスAttic faith（現（株）アティックフェイス）を設立。製造業を中心に生産性改善、業務プロセス再構築などの支援に取り組んでいる。中小企業診断士、IE士（生産工学）、経営学修士（MBA）等。

備考

※全日とも、12:30～13:30は休憩時間となります。
 ※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。